

令和5年6月新見市議会定例会  
日程第4（市長の行政報告について）

市長行政報告

本日、6月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、5月8日から「5類感染症」に位置づけられ、対応は個人の自主的な取組を基本とすることに転換されました。

ゴールデンウィーク頃から市内各地において、様々な行事やイベントが開催されており、地域が元気になり、コロナ前のにぎわいや活気が戻ってきたことは大変喜ばしいことでもあります。これからもたくさんのイベントが予定されておりますので、市民の皆様方におかれましては、ぜひお出かけください。

それでは、12月市議会定例会以降の主な事項について、報告をさせていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

農業振興につきましては、3月に肥料や農薬の高騰などにより生産コストが上昇している園芸品目の生産者に対し、肥料や農薬購入費の一部を支援し負担軽減を図るため、348戸の生産者に対し「園芸肥料農薬高騰対策支援金」として、759万5千円を交付いたしました。

また、化学肥料の低減に取り組む419戸の生産者に対しましても、肥料購入費の一部を支援する「グリーン農業推進事業補助金」として、261万6千円の交付を行い、生産者のグリーンな栽培体系への転換と生産コストの低減を図りました。

本市を代表する農産物であるぶどうの振興につきましては、市内2か所のぶどう選果場に、JA晴れの国岡山が色彩選別カメラや国内初となる近赤外光照射による鮮度保持機能を備えた選果ラインを導入する経費の一部を支援いたしました。

これにより、作業の省力化に加え、選果基準の平準化や高品質化が図られ、さらなる生産技術の向上やブランド力の強化につながるものと期待しております。

林業振興につきましては、令和4年度に「未来へつなぐ新見の林業会議」で森林・林業に関する課題抽出や取組内容のご意見をいただき、3月に『新見市森林ビジョン』を策定いたしました。本ビジョンでは、本市の2050年の森林のあるべき姿を見据

え、森林整備、木材利活用、担い手対策のそれぞれの分野で重点項目を定めて、取組を推進してまいります。

また、木造住宅の増改築に対する補助制度の拡充につきましては、「新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業」及び「新見市木造住宅建築業者支援事業」において、本年度から新見産の木材の使用量が1 m<sup>3</sup>未満についても補助対象といたしました。

商工振興につきましては、「新見市オリジナルI C O C A事業」に取り組んでおり、5月末現在、市民の皆様のおよそ84%の方がカードを保有され、市内99店舗において、昨年度付与した「にーみんポイント」のおよそ89%が利用されております。

本年度は、4月15日から5月14日にかけて、現金チャージに対して20%、最大2,000円分のにーみんポイントを付与するキャンペーンを実施した結果、8,013人の方が参加され、計7,704万円がチャージされております。ポイント付与は、6月15日に行うこととしております。

また、転入や出生により本年度新たに市民になられた方に対して、新見市オリジナルI C O C Aを発行し、ウェルカムにーみんポイントとして3,000円分のポイントを付与しております。5月末現在で92件、27万6千ポイントの付与を行いました。

引き続き、加盟店を増やししながら、市内経済の好循環に向けて取り組んでまいります。

次に、「健康・福祉」についてであります。

児童福祉・子育て支援につきましては、3月に哲多認定こども園が完成し、4月13日に開園式を行いました。

また、食材等の物価高騰に直面し、特に影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、「子育て世帯生活支援特別給付金」の支給を、5月29日から開始しており、これまでに205世帯354人分の振込が完了しております。

障がい者の就労支援につきましては、3月に「障がい者雇用促進ハンドブック」を作成し、新見商工会議所、阿哲商工会、健康の森学園、ハローワーク新見に配布するとともに、ほほえみ広場にいみ窓口にも設置いたしました。制度の周知が図られ、積極的に活用されることを期待しております。

また、市内のAEDの設置状況につきましては、公共施設の設置施設一覧等ホームページ上の情報を更新し、周知を行っております。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

学校施設長寿命化計画に基づき実施しておりました西方小学校の大規模改修が終了し、4月には新入生を迎えて、新しい学校生活がスタートしております。

本年度は、神代小学校の大規模改修を予定しており、児童・生徒が安心して学べるよう、引き続き教育環境の整備に努めてまいります。

文化財関係につきましては、市内の文化財をまとめた冊子「新見市の文化財」を改訂するとともに、文化財の場所を記した「新見市文化財マップ」を新たに作成いたしました。文化財マップは、各公民館をはじめ、市内観光施設等に配置しております。

また、文化財の保存と活用を進めるため、新見市文化財保存活用地域計画の策定に着手しております。

高校支援につきましては、小中学校に高校の魅力を伝えるための体制を強化するため、本年度、新たに教育委員会にも学校連携コーディネーターを配置いたしました。

また、4月11日に岡山県教育長を訪問し、県立高校の廃止が人口減少に拍車をかけ、本市の存続に直結する問題であることを申し上げ、教員配置の柔軟な対応と、生徒数による再編整備基準の見直しを強くお願いいたしました。

山田方谷先生の顕彰活動につきましては、地元企業の高度なパンチングメタルの技術を活かして、方谷先生の肖像画を描いたアルミ製の看板を山田方谷記念館に設置し、4月23日に除幕式を行いました。また、NHK大河ドラマ化の実現に向け、5月11日に、県知事や高梁市長とともに東京のNHK放送センターに赴き、要望活動を行ったところであります。引き続き、大河ドラマ化の実現に向けて、取り組んでまいります。

次に、「安全・生活基盤」についてであります。

新たな防災の拠点となる市役所本庁舎附属棟の整備事業につきましては、本庁舎西棟周辺の電気・水道・消防設備等の支障移転工事が完了し、現在、西棟の解体工事と附属棟建設に向けた実施設計を進めているところであります。令和6年度中の完成を目指し、引き続き事業を推進してまいります。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

公共交通につきましては、「新見市地域公共交通計画」を3月に策定いたしました。本計画に基づき、市民の利便性の向上を図るとともに、持続可能な交通体系の確立を目指し、各種交通施策を推進してまいります。

また、哲西、神郷及び新見北部地域での予約型乗合タクシーにつきましては、これまでの実証運行や3月に実施した公共交通に関するアンケート調査の結果をもとに、新たな地域への拡大や本格運行への移行に向けて取り組んでまいります。

鉄道関係では、公募型鉄道利用促進事業として市民団体等に募集したところ、1件の提案があり、今後事業化に向けて取り組んでまいります。また、新見市鉄

道利用促進協議会においても、2024年鉄道カレンダー用の写真募集や小中学生利用促進事業などの取組を新たに展開しており、新見駅の開業95周年記念事業につきましても、10月実施に向けて準備を進めております。

情報通信の分野につきましては、告知放送機器による音声放送に加え、新たな情報伝達手段として、新見市公式ポータル「新見まちナビ」をリニューアルし、スマホアプリによる音声や文字での配信サービスを4月から開始いたしました。

このアプリの活用により、市報などの市からのお知らせや告知放送の内容をスマートフォンから取得できるようになりました。市民の皆様の利便性の向上につながるものと考えております。

新見駅周辺まちづくりにつきましては、官民の幅広い関係者が参画し、地域の将来像や課題解決について議論する場となる「仮称・新見駅周辺まちづくりエリアプラットフォーム」の設立準備会を6月8日に開催いたしました。これにより、まちづくりに対する機運を一層高め、同プラットフォームと連携しながら、にぎわい創出に取り組んでまいります。

次に、「環境」についてであります。

3月に「第3次新見市環境基本計画」を策定いたしました。本市が抱える環境課題を見つめ直し、環境を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、ゼロカーボンシティの実現、環境負荷の少ない循環型社会への転換など、5つの基本目標の実現に向けて、各種環境施策を進めてまいります。

脱炭素社会の実現に向けた取組につきましては、4月に環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業の採択を受け、PPA事業により、馬塚浄水場と新見浄化センターの2施設に太陽光発電設備の導入を行うこととしております。本年度中の完成を目指して事業を進めてまいります。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

地域運営組織につきましては、4月に布瀬地区で新たに設立され、合計19組織が活動されております。また、住民の誰もが気軽に立ち寄り交流を図ることができる活動拠点施設として、田治部地区と下熊谷地区に新たに地域づくりセンターを開所いたしました。今後も地域運営組織の設立やその活動のための支援を行ってまいります。

次に、「広聴・広報」についてであります。

広聴・広報につきましては、12月に草間台保育所と哲西認定こども園で、子育て世代の方々との市政懇談会「市長とフリートーク」を開催いたしました。「移住・定住～住みたい 住み続けたい にいみ～」を懇談テーマに、子育て支援や情報発信の

分野について、ご意見やご提言をいただきました。

また、2月には、小学生6名を市長室に招待し、「ようこそ市長室」を開催いたしました。「こんな新見になあれ」をテーマに、小学生が考える理想のまちの姿やそれに必要な施設などについて意見交換を行いました。今後も、様々な世代の皆様から貴重なご意見をお伺いする機会として、引き続き市政懇談会を実施してまいります。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしました。引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。